

# 町家を再生 宿泊どうぞぞ

## 倉敷美観地区 来月から

倉敷市美観地区を中心とした市街地の再生を目指す特定非営利活動法人(NPO法人)「倉敷町

家トラスト」(倉敷市、約二百二十人)は、美観地区内で無人のまま十年近く放置され、老朽化した町家の改修を終え、来月八日から宿泊施設として貸し出す。空き家が目立つ美観地区を人の息遣いが感じられる街に戻す事業の第一弾。

改修したのは、北に鶴形山、南に倉敷アイビースクエアがある同市本町の高台にある「本町御坂の家」。昭和初期に建てられたとされ、敷地約五十平方メートル、木造平屋約三

十三平方メートル。

同トラストが家主と十年間の定期借地契約を結び、今年六月に着工。メンバーらが、瓦や壁

板を取り除いた後、建築業者が柱などの骨格を生かし、近隣の町並みに合わせ改修した。居間と和室、風呂、水洗トイレを備える。改修費約一千万円は、会費や倉敷市の補助金、玉島信用金庫(同市)の助成金などを

充てた。美観地区の建物約七百戸のうち、一割が終日空き家の状態を憂う地元住民らが昨年五月、同トラストを設立。中村泰典代表理事(56)は「町に明かりがともせた。古い町並みが一望でき、町家再生のシンボルにしたい」と話している。

利用は同トラストの会員か準会員(入会費なし、年会費二千元)に限り、一日の料金は一人一万円、二人で一万円、三人で一万二千元。休日の前日は各二千元プラス。同トラスト☎080(5232)6462。

(中井幹夫)



改修を終えた「本町御坂の家」

